

# 糖尿病・代謝・内分泌内科

## ● スタッフ（2022年10月1日現在）

診療科長 鈴木 亮  
 医局長 永井 義幸  
 病棟医長 安倍 浩則  
 外来医長 佐々木 順子

医師数 常勤 33名  
 非常勤 12名

## ● 診療科の特徴

当科は糖尿病、代謝疾患、内分泌疾患を幅広く診察しております。糖尿病に対しては通常の外来・入院診療に加えて、持続血糖測定器での血糖変動の評価や、1型糖尿病に対してのインスリン皮下持続注入療法と持続血糖測定を併用したSAP療法なども行っております。脂質や尿酸の管理も行っており、家族性高コレステロール血症については遺伝子診断も積極的に行っております。また、内分泌疾患も多く、甲状腺・下垂体・副腎疾患の診療をしております。日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本肥満学会、日本甲状腺学会の教育認定施設であり、各領域の専門医が質の高い医療を行っております。

## ● 診療体制と実績

外来診療は4-5診体制で定期受診患者を診療しております。連携室を通してご紹介いただく初診患者は初診担当医が迅速に対応しています。糖尿病診療は、全身の合併症をみる必要がありますが、当科は各専門科と綿密に連携して診療を行っております。水曜日午後には糖尿病看護外来としてフットケア外来を設けており、足病変ハイリスク患者の診療を行っております。また、木曜日の午後にはインスリンポンプ専門外来を行っております。医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・理学療法士・臨床検査技師でつくる療養指導のチームを設けており、チームで患者の療養指導に取り組んでいます。それを担う糖尿病療養指導士の育成にも積極的に取り組んでいます。また当科では2人主治医制をすすめており、地域の先生と当院医師が役割分担をし、質の高い医療の提供を目指しています。

糖尿病・代謝・内分泌内科

	2020年度	2021年度	2022年度
初診患者数	655	548	553
再診患者数	30,081	33,042	34,075

2022年度入院患者

	人数
2型糖尿病	176
1型糖尿病	12
糖尿病ケトアシドーシス	9
甲状腺・副甲状腺	9
下垂体	16
副腎	52
その他	98
合計	372